



ふたばの日 開館二周年記念イベント

2007年2月8日(木) 10:00~20:00

ふたばの日につき、入館料無料、開館時間延長となります。
また、入館者先着200名様に二葉館特製ステンドグラス写真はがきをプレゼントいたします。
どうぞお誘い合わせの上、ご来館ください。

川上貞奴講演会

- 講演: 成田山貞照寺僧正・小豆畑照観氏
- 11:00~12:00/大広間

邦楽コンサート

- 演奏: Japan Music CLUB 飛鳥
 - 14:00~15:00/大広間
- 箏・三味線・17弦・20弦・尺八などで、古典から現代曲までの祝い邦楽を演奏

川上貞奴着物一部特別展示(本年一回のみ)

- 2/8(木)~12(月・祝)
- 8日 10:00~20:00
- 9~11日 10:00~17:00
- 12日 10:00~14:00
- 2F 和室1・2



講演会「建築家 武田五一とその時代」

- 2007年3月17日(土) 14:00~15:30
- 会場: 旧豊田佐助邸/入場無料
- 講演者: 河田克博(名古屋工業大学教授)

武田五一(1872~1938)は、1900年代前半に活躍した日本を代表する建築家の一人で、アール・ヌーヴォーをいち早く日本に紹介した人物として知られています。

1918(大正7)年、名古屋工業大学の前身である名古屋高等工業学校校長に就任。一時は白壁地区(故江崎公朗宅)にも居住し、建築教育のかたわら、春田文化住宅や故春田鉄次郎邸などの作品を当地に残しています。河田教授にはその作品や人となり、人間関係のことなどについて語っていただきます。

なお、故春田鉄次郎邸和館 2階には、武田五一の作品パネルを常時展示しています。どうぞ、合わせてご覧ください。(水・木・土曜の10:00~12:00、13:00~15:30開館。見学の際は、旧豊田佐助邸のスタッフに声をおかけください。)



故春田鉄次郎邸

城山三郎の戦記小説展 ~今、再び問いかける昭和の戦争文学~

- 2007年1月23日(火)~3月18日(日)
- 10:00~17:00 *最終日のみ~16:00
- 会場: 2階展示室6・7

作家・城山三郎は、昭和20年春、17歳で海軍特別幹部練習生として志願入隊をしますが、その実態は特攻要員の確保でした。数ヶ月後には敗戦をむかえ、わずかな差で「死」を免れますが、この時の経験が「考える」と「書く」の原点となりました。

今回は、入隊の動機付けとなった「大義」(杉本五郎著)や、平成18年1月に完結した「城山三郎 昭和の戦争文学」(全6巻)、作品に使われた資料、生原稿などを展示します。



ふたば 復り 第4号

発行日 2007年2月1日
発行 文代のみち二葉館【名古屋市旧川上貞奴邸】
〒461-0014 名古屋市東区榎木町3-23
TEL&FAX 052-936-3836
URL <http://www.futabakan.city.nagoya.jp>
※この印刷物は、再生紙(古紙配合率100%)を使用しています。

N E W S L E T T E R

ふたば 復り

第4号

2007年
2月1日発行

来る2月8日に開館から丸2年を迎える、文化のみち二葉館。この日を「ふたばの日」として、昨年は名古屋甚句のお披露目を、今年は貞奴の着物の展示や貞奴にまつわる講話などを企画しています。昨年11月17日には、入館者が10万人を突破。ますます皆さまに愛される二葉館となるよう、関係者一同、努めてまいります。今年もよろしくお願いたします。

E V E N T R E P O R T

「歩こう!文化のみち2006」11月3日(祝)

文化のみち内の様々な歴史的建造物や史跡、文化施設などを巡るウォークラリー「歩こう!文化のみち」も7年目を迎え、すっかり定着した感があります。今年は汗ばむほどの好天に恵まれ、またJR東海主催「さわやかウォーキング」のコースになったこともあり、約1万2千人が参加。二葉館にも開館前からたくさんの方々立ち寄り、多くの方々の笑顔であふれた一日を、レポートします。



9:00~16:00
◆着物着用の方
先着100名に入館券
プレゼント

10:00~16:00 ◆「東区ちょっといいもの展」(11/3・4)

東区文化のみちガイドボランティアの会と二葉館の共催で、福沢桃介・川上貞奴に関する品々、東区ゆかりの品々の展示が集會室で行われました。ガイドの方々の解説付きで貴重な品々を拝見することができ、ご好評をいただきました。



10:00~11:00 ◆文学講座

名古屋大学教授の堀内守氏、中部ペンクラブの三田村博史氏をお迎えした今年のテーマは「名古屋ゆかりの文士たち」。中面に内容を掲載しましたので、ぜひご覧ください。



13:00~15:00 ◆ヤッサンの紙芝居

開館以来初めて玄関前の芝生広場を使って開催されたのが、大阪からキャンピングカーでやってきた「ヤッサンの紙芝居」。子どもたちや外国人留学生の方々も参加。5コマ漫画の無言紙芝居などで、大いに盛り上がりました。

「ヤッサン」こと安野侑志さんは、創造学園大学の客員教授でもある。



15:00~15:45

◆「貞奴ルネッサンス -21世紀のモガたちへ~魅った着物たち」

おしゃれで華やかな貞奴へのオマージュをこめて、アンティークの着物地で作った洋服と、着物の



新しい着こなしを提案するファッションショーが開催されました(協力:るびーぶる)。モデルの方々は皆さん素人なのに、そうとは思えない堂々たる着こなしと身のこなし。貞奴の紫の着物をガウンのようにまとったモデルさんが階段から降りてくると、大きな拍手で包まれました。